

No.	ご意見の内容	ご意見への回答（対応内容）	該当箇所
1	<p>健康増進に役立つのは市民が運動に参加することだけでなく、スポーツイベントを外出して見に行き歩いて歩くこと、人と接することが高齢化社会には重要。市民が見に行き歩いて楽しめるよう、アクセス整備もお願いしたい。</p>	<p>施設更新にあたっては、利用者の利便性向上を目指し、交通便利性の高い場所などに配置していくことを検討してまいります。</p>	<p>・本編21頁 第2章 2 取組1 （3）利便性の高い場所への配置（まちづくりとの連携）</p>
2	<p>市所管スポーツ施設や類似施設の情報提供の一元化のみならず、北海道や近隣都市が所管する施設についても、空き状況の情報や利用申込の一元化（現行の公共施設予約サービス（HARP）の共同利用等）を図ることで、市民の利便性向上や利用者の分散化に繋がると考える。</p>	<p>利用者の利便性向上にあたり、類似施設のみならず北海道や近隣都市が所管する施設も含め、一元的に情報提供することは有効であると認識しております。こうしたことから、本編27頁において「周辺自治体と連携した施設利用の可能性を検討」することを記載しております。まずは、どのような連携が可能なのか調査したうえで、具体的な内容を検討してまいります。</p>	<p>・本編22頁 第2章 2 取組1 （3）③施設利用の情報提供一元化等 ・本編27頁 第2章 2 取組2 （2）⑥周辺自治体</p>
3	<p>市所管スポーツ施設の「総量適正化」により、施設数が減少することが予想されるが、その代替えとなる施設との連携強化や役割分担が非常に重要。 特に市が所管する学校（学校開放）、公園、河川敷、コミュニティ施設などの類似施設は、すでに一定の利用者が存在しており、市所管スポーツ施設の総量が抑制された場合、早朝や夜間の利用時間帯の拡大のみで全体の利用者を吸収することは困難であり、類似施設を含めた各施設の利用時間帯の細分化や統一化など、さらなる運営方法の工夫も必要と考える。</p>	<p>ご指摘の内容は認識をしております、類似施設を含めた運営方法の工夫について検討してまいります。 なお、小学校改築に併せて児童会館を複合化する際には、多目的ホールを整備する方向であり、今後、増加が見込まれる当該施設について、身近なスポーツの場としても活用してまいります。</p>	<p>・本編24～27頁 第2章 2 取組2 スポーツをする場の多様な担い手確保・連携</p>
4	<p>「夏季スポーツ」を冬季に練習できる環境を整備する必要はないか。 本方針は、スポーツ施設の「持続可能な施設配置の実現」と「多様性のあるスポーツ環境の実現」とあり、施設の総量適正化と機能の拡充の両立を掲げているが、その際、上記を考慮した環境の整備は実施しない方向か。 本方針は、「札幌市スポーツ推進計画」に基づくものと理解しており、スポーツ人口で言うと「夏季スポーツ」の実施者の方が多いのではないか。</p>	<p>札幌市にとって冬の季節を楽しむウインタースポーツは大切な文化のひとつであり、冬期間におけるスポーツ実施率向上の観点からも、まずはウインタースポーツの振興を重要な施策として位置付けております。 このようなことから、夏季の屋外スポーツの場を冬期間に確保することについて、具体的な記載はしていませんが、現時点においても、札幌ドームでのナイトラン実施やファイターズ屋内練習場の一般開放などのほか、令和元年度に供用開始した中央体育館では新たにランニングコースを設けるなど、冬期間における運動の場の確保に努めております。 なお、本方針では、不足している競技機能などについて、施設更新の際に確保・対応することとしており、中央体育館における対応は、この前例となるものです。 こうした総合的な取組によって「多様性のあるスポーツ環境の実現」を進めていきたいと考えております。</p>	<p>・本編36～37頁 第2章 2 取組6 ウインタースポーツ拠点都市として相応しい環境の充実 ・本編29頁 第2章 2 取組3 （1）新たな競技機能の確保 （2）施設更新と併せた機能向上</p>
5	<p>札幌は雪のためか走ることにに関して、全国下位となっているが、北海道マラソンなどの市民マラソンなどが盛んで競技人口は多いと感じる。5-10Km程度のランニングコースの整備もあれば良い。</p>	<p>札幌市にとって冬の季節を楽しむウインタースポーツは大切な文化のひとつであり、冬期間におけるスポーツ実施率向上の観点からも、まずはウインタースポーツの振興を重要な施策として位置付けております。 このようなことから、夏季の屋外スポーツの場を冬期間に確保することについて、具体的な記載はしていませんが、現時点においても、札幌ドームでのナイトラン実施やファイターズ屋内練習場の一般開放などのほか、令和元年度に供用開始した中央体育館では新たにランニングコースを設けるなど、冬期間における運動の場の確保に努めております。 なお、本方針では、不足している競技機能などについて、施設更新の際に確保・対応することとしており、中央体育館における対応は、この前例となるものです。 こうした総合的な取組によって「多様性のあるスポーツ環境の実現」を進めていきたいと考えております。</p>	

No.	ご意見の内容	ご意見への回答（対応内容）	該当箇所
6	<p>冬季の施設利用率を見ても、やりたくても出来ない団体、個人が多くいると思うので、屋根付き施設、屋内施設の増設や現施設の運用方法の検討をお願いしたい。</p>	<p>今後、人口減少・超高齢社会が進展していくなか、施設総量の適正化を図っていくにあたって、まずはご意見にもある利用時間拡大などの運用方法の工夫や、コミュニティ施設等との連携強化など、既存施設の更なる活用について検討してまいります。</p> <p>なお、不足している競技機能などについては、施設更新の際に確保・対応することとしており、こうした取組の中で、新たに必要な機能等について検討してまいります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本編22頁 第2章 2 取組1 (3) ②施設利用時間の拡大 ・本編24～27頁 第2章 2 取組2 (2) 多様な施設、担い手との連携 ・本編29頁 第2章 2 取組3 (1) 新たな競技機能の確保 (2) 施設更新と併せた機能向上 ・本編36頁 第2章 2 取組6 (1) 冬季オリンピック・パラリンピック招致と併せた施設更新等
7	<p>報告として、昨年スタートした多種目体験型スクール（DO! スポKIDS）で歩くスキーを体験した受講生がクロスカントリースキーを継続してやりたいとの要望があり、札幌クロカン少年団を紹介したところ、入団に繋がった。 このような子どもが増えて来たら札幌出身のオリンピックが多くなると思う。</p>	<p>ご報告いただいた内容は、スポーツ施設を「子どもたちがスポーツを始めるきっかけづくりや、トップアスリートを育成する場とする」ことを目的とした取組の効果を示すものです。こうした効果がさらに拡大していくよう、引き続き取組を進めてまいります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本編30～31頁 第2章 2 取組3 (3) ③スポーツ施設の戦略的な活用 (アスリートの発掘・育成)
8	<p>「共生社会を実現するスポーツ環境の充実」が掲げられているが、2030冬季オリンピック・パラリンピック招致に併せ、障がい者スポーツの活動拠点（専用施設）の整備が必要と思われるため、早急な調査・研究をお願いしたい。</p>	<p>障がい者スポーツの活動拠点の整備に向け、令和3・4年度の2か年度で先進事例等の調査を実施し、障がいのある方や競技関係者等との議論を深めながら検討を進めることとしております。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本編32頁 第2章 2 取組4 (2) 障がい者スポーツセンターの整備検討
9	<p>カーリングも道銀やロコソラーレ、コンサドーレ、学生チームが大活躍で盛り上がっている。カーリング場も、もう一つ通年で使える専用会場があればと感じる。</p>	<p>本方針では、本編36頁「取組6 ウィンタースポーツ拠点都市としてふさわしい環境の充実」を設定し、冬季オリンピック・パラリンピック招致と併せた施設更新等にあたって、ウィンタースポーツの環境強化を念頭に検討することとしております。不足している競技機能などについては、こうした取組の中で、必要性等を踏まえ検討してまいります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本編36頁 第2章 2 取組6 (1) 冬季オリンピック・パラリンピック招致と併せた施設更新等 ・本編53頁 第3章 3. スケート場・カーリング場 3-2 (2) ①スケート場はウィンタースポーツを支える機能を担う (ウィンタースポーツの振興・拠点都市としての地位確立に向け、必要な機能、施設環境を確保)
10	<p>現在、区温水プールに近隣小学校の水泳授業を受け入れる試行実施を検討・協議している。 今後、民間施設との併用による授業受け入れの拡充が可能となれば、学校プール施設の「総量適正化」に繋がるものと考えられる。</p>	<p>プールについては、令和3年度に民間活力の活用可能性調査などを予定しており、この結果を踏まえ、具体的な対応を検討してまいります。また、区温水プールにおける学校の水泳授業の施行実施について、札幌市としても指定管理者と連携しながら取り組んでまいります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本編49頁 第3章 2. 温水プール 2-2 (3) ①市内プール施設の集約の可能性検討 ②民間活力の活用可能性調査・検討
11	<p>集約（多目的化）の具体化検討において以下の記載が重複している。 ・区温水プール、民間施設での水泳授業受け入れ調整 ・民間施設での市民利用、水泳授業の受け入れ調整</p>	<p>ご指摘のとおり、本編49頁の記載を以下のとおり修正いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区温水プール、民間施設での水泳授業受け入れ調整 ・民間施設での市民利用受け入れ調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・本編49頁 第3章 2. 温水プール 2-2 (3) <概ね10年間における取組の手順>

No.	ご意見の内容	ご意見への回答（対応内容）	該当箇所
12	<p>施設内に飲食の売店や食事をしながら休憩できるスペース、託児所など多様化するニーズを踏まえ、公的サービスや民間活力の導入などの検討をお願いします。</p>	<p>現在、市所管スポーツ施設において、売店を設置し民間事業者が運営を担うなどの利便性向上に取り組んでおりますが、収支面での課題が大きく一部施設に留まっている状況です。今後、施設更新を行うにあたって、他施設との集約（複合化・多目的化）等により利便施設の需要が高まる可能性や、民間活力の活用によるサービス向上などの効果も期待されることから、こうした観点も念頭に取組を進めてまいります。</p>	<p>・本編17頁 第2章 2 取組1 (1) ②施設の集約（複合化・多目的化） ・本編26頁 第2章 2 取組2 (2) ⑤民間事業者：民間活力を活用したスポーツ施設の整備・運営の可能性を検討</p>
13	<p>球技については、強いチームが地元にいるとアマチュアのスポーツも盛んになる。 コンサドーレや日ハムも強くなれば観客も増えるので、是非とも、プロチームには更に強くなってもらうよう市民イベントや施設の利用などを通じて（交流やトレーニング使用に特別割引するなど）応援してほしい。日ハムがいなくなるようなことが二度と起こらないようお願いしたい。</p>	<p>本市では、プロスポーツチーム（北海道日本ハムファイターズ・北海道コンサドーレ札幌・レバンガ北海道・エスポラーダ北海道）と「プロスポネットSAPPORO」を設立し、スポーツのすそ野の拡大や観る文化の醸成等に取り組んでおります。 全チームの試合日程がわかる共通カレンダーの作成や市内の小学生を無料招待するサッポロキッズデーを実施するほか、市有施設における使用料支援など、さまざまな取組を行っており、今後も各チームと連携しながらさまざまな事業を展開していく予定です。</p>	<p>—</p>
14	<p>人口減少、超高齢社会の進展などの将来を見据えた対策、施設の維持管理などに多大な費用がかかると思うが、持続可能な施設配置の実現に期待。 年齢や性別、障がいの有無等を問わず誰もがスポーツに参画できる多様性のあるスポーツ環境も重要な要素であり、スポーツを通して健康で豊かな生活の実現が札幌市のまちづくりに繋がると思う。</p>	<p>ご期待に応えられるよう、取組を進めてまいります。</p>	<p>—</p>